

(別紙)

審査基準

下表の基準に従って審査委員が、企画提案書等について評価の視点をもとに評価したものを審査点（100点満点）とする。最終的に各審査委員の審査点を合計して総合点を算出し、最高得点を得た者から順位を付けるものとする。ただし、順位決定を行う際に、同位の提案書が複数ある場合は、審査委員全員の多数決により順位を決定する。

なお、審査委員の1名以上が内容点の評価項目のうち評価点2点未満とした場合または審査点が50点未満の場合は失格とする。

評価項目	評価の視点	評価点	係数	配点 (評価点×係数)
ア 業務の理解度	① ・仕様書に記載の内容について、すべて提案されているか。 ・本業務に対する考え方が具体的かつ適切か。	5点	2	10点
イ 業務推進体制	② ・人員体制配置予定者の専門性は十分か。 ・実施体制及び役割分担が具体的に明示され、本業務を円滑に遂行できるものであるか。 ・会社規模、財務状況、想定スケジュール、業務実績などから業務の執行に支障はないか。	5点	3	15点
ウ 提案内容	③ ・Z世代の当事者性を引き出し、主体的に取り組める内容となっているか。	5点	4	20点
	④ ・Z世代の共感を得て意識変容を促す動画制作となるよう制作過程に工夫がされているか。	5点	3	15点
	⑤ ・SNSの特徴、Z世代のSNS視聴パターンを活用した発信の工夫があるか。	5点	3	15点
	⑥ ・情報発信の効果測定、若者への波及効果検証、目標（KPI）の設定および達成可能性について、明確かつ合理的な内容か。	5点	2	10点
エ 積極性	⑦ ・仕様書に記載されていない事項であって、本業務を達成するために有効と認められる追加提案があるか。	5点	2	10点
オ 価格点	⑧ ・総事業費は安価であるか。 5点×応募者中の最低価格／応募者の提案価格 ※小数点以下切り捨て	5点	1	5点
合計				100点

評価の基準

各評価項目の評価点は、5点満点（最高得点5点、最低得点0点）とする。

- ・特に優れている (5点)
- ・優れている (4点)
- ・普通（基準点） (3点)
- ・やや劣る (2点)
- ・劣る (1点)
- ・要求水準を満たしていない (0点)